

大学祭「五橋祭」開催



十月十三日、五橋キャンパスで大学祭「五橋祭」が開催された。今年のテーマは「Link(リンク)」。人と人、人と地域、そして過去から未来へ、

大学祭を通じて広げる「つながり」を大切にしたいという思いが込められた。大学祭実行委員長の伊藤隆さん(経済学科三年)は、開催に携わった関係者に感謝の言葉を述べつつ「大学祭を通して、一人ひとりがつながることの楽しさや可能性を実感していただきたい」と話した。

地域連携イベント「わが街マルシェ」も同時開催され、学生たちの熱気と地域住民の賑わいが融合し、キャンパスは終日活気に包まれた。

メイン会場の押川記念ホールでは、吹奏楽部(シンフォニックウインドアンサンブル)の演奏やお笑いサークル「みちのく」による漫才などが披露され、集まった観客を魅了した。模擬店エリアでは、各団体が工夫を凝らしたメニューを提供。人気店の前には長い行列ができ、食欲の秋を感じさせた。文化団体による作品展示や、普段は入ることができない工学部の研究室を一部公開する企画も実施。アカデミック

は、お笑い芸人「きし」の「からし蓮根」「ラーノーズ」の三組を招いたお笑いライブを開催。テレビでも活躍する人気芸人たちの登場に、会場は大いに盛り上がりを見せた。

「わが街マルシェ」には、キャンパス近隣の連坊商興会、むにやむにや通り商店が一体となった両イ

な一面に触れる機会が提供され、子どもから大人まで楽しんでいた。

メインイベントの一つ、芸能人企画で

「わが街マルシェ」も同時開催され、学生たちの熱気と地域住民の賑わいが融合し、キャンパスは終日活気に包まれた。

メイン会場の押川記念ホールでは、吹奏楽部(シンフォニックウインドアンサンブル)の演奏やお笑いサークル「みちのく」による漫才などが披露され、集まった観客を魅了した。模擬店エリアでは、各団体が工夫を凝らしたメニューを提供。人気店の前には長い行列ができ、食欲の秋を感じさせた。文化団体による作品展示や、普段は入ることができない工学部の研究室を一部公開する企画も実施。アカデミック

は、お笑い芸人「きし」の「からし蓮根」「ラーノーズ」の三組を招いたお笑いライブを開催。テレビでも活躍する人気芸人たちの登場に、会場は大いに盛り上がりを見せた。

「わが街マルシェ」には、キャンパス近隣の連坊商興会、むにやむにや通り商店が一体となった両イ

な一面に触れる機会が提供され、子どもから大人まで楽しんでいた。

メインイベントの一つ、芸能人企画で

「わが街マルシェ」も同時開催され、学生たちの熱気と地域住民の賑わいが融合し、キャンパスは終日活気に包まれた。

メイン会場の押川記念ホールでは、吹奏楽部(シンフォニックウインドアンサンブル)の演奏やお笑いサークル「みちのく」による漫才などが披露され、集まった観客を魅了した。模擬店エリアでは、各団体が工夫を凝らしたメニューを提供。人気店の前には長い行列ができ、食欲の秋を感じさせた。文化団体による作品展示や、普段は入ることができない工学部の研究室を一部公開する企画も実施。アカデミック

は、お笑い芸人「きし」の「からし蓮根」「ラーノーズ」の三組を招いたお笑いライブを開催。テレビでも活躍する人気芸人たちの登場に、会場は大いに盛り上がりを見せた。

「わが街マルシェ」には、キャンパス近隣の連坊商興会、むにやむにや通り商店が一体となった両イ

な一面に触れる機会が提供され、子どもから大人まで楽しんでいた。

メインイベントの一つ、芸能人企画で

「わが街マルシェ」も同時開催され、学生たちの熱気と地域住民の賑わいが融合し、キャンパスは終日活気に包まれた。

メイン会場の押川記念ホールでは、吹奏楽部(シンフォニックウインドアンサンブル)の演奏やお笑いサークル「みちのく」による漫才などが披露され、集まった観客を魅了した。模擬店エリアでは、各団体が工夫を凝らしたメニューを提供。人気店の前には長い行列ができ、食欲の秋を感じさせた。文化団体による作品展示や、普段は入ることができない工学部の研究室を一部公開する企画も実施。アカデミック

は、お笑い芸人「きし」の「からし蓮根」「ラーノーズ」の三組を招いたお笑いライブを開催。テレビでも活躍する人気芸人たちの登場に、会場は大いに盛り上がりを見せた。

「わが街マルシェ」には、キャンパス近隣の連坊商興会、むにやむにや通り商店が一体となった両イ

な一面に触れる機会が提供され、子どもから大人まで楽しんでいた。

メインイベントの一つ、芸能人企画で

東北学院時報

10月・11月合併号

発行
学校法人 東北学院
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
電話 022-264-6423
FAX 022-264-6478

編集兼発行人 原田 善教
編 集
法 人 事 務 局 広 報 部

お電話相談窓口はこちら
大学・大学院 ☎022-
学長室政策支援IR課 (調査依頼・各種補助金) 264-6424
アドミッションズ・オフィス (受験相談・資料請求) 264-6455
学生課 (学生生活相談・奨学金) 264-6471
教務課 (成績・各種証明書発行) 264-6451
就職キャリア支援課 (求人依頼・就職相談) 264-6482
財務課 (学納金・寄付申込) 264-6441
研究支援課 (公開講座・講演会) 264-6430
大学院課 (大学院相談) 354-8202

中学・高校 ☎022-786-1231
櫛ヶ岡高校 ☎022-372-6611
幼稚園 ☎022-368-8600

ご購入のお申し込み・同窓生の住所変更、同窓会開催のご連絡は校友課へ
☎022-264-6468
振替口座 02240-9-883



あなたの道を主に任せよ。／主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。
詩篇三七篇五節

陸上競技部 第五十七回全日本大学駅伝 二大会ぶり十八回目 出場権獲得

秩父宮賜杯第五十七回全日本大学駅伝対校選手権大会の東北地区代表選考会が九月二十七日に行われ、本学陸上競技部が二大会ぶり十八回目の本大会出場を決めた。選考会は、一万メートルを八名の選手が二組に分かれて走り、その合計タイムで順位を競った。

二年前に十三大会ぶりで見事な突破したが、昨年は二位で敗退。チームはその悔しさを糧に雪辱を期して臨んだ。

特に目立った活躍を見せたのがエースの吉田奏斗選手(経済学科三年)と萩川暁選手(政策デザイン学科二年)の二枚看板。吉田選手は自己ベストに迫る走り、萩川選手は自己ベストを更新し二位と、それぞれ期待に応えてチームを牽引した。

今年新たに就任した高橋賢二監督は、学生三大駅伝の一つ全日本大学駅伝への出場を目標に掲げ、萩川選手は自己ベストを更新し二位と、それぞれ期待に応えてチームを牽引した。

また、同日に行われた全日本大学女子駅伝の東北地区代表選考会では、松野海白選手(経営学科四年)が力走を見せ、昨年に続き東北学連選抜に選ばれた。

※本内容は十月二十八日時点の情報です。全日本大学駅伝の結果は次号(十一月十五日発行)での掲載を予定しています。